

広報

のぼり

● No. 444 ● 昭和62年10月1日発行



今年も秋サケの季節がやってきました。市内の海岸線では、豪快なサケ釣りを求めて、釣り人たちが釣り竿を林立させています。もう、登別ではおなじみとなった風物詩の一コマです。

いま、登別漁港（写真）では、サケの水揚げに湧いています。

昭和57年から始まった「ふ化放流事業」も軌道に乗り年々回帰するサケが増えています。今年帰ってきているのは、昭和59年に放流した稚魚たち。厳しい成長の旅から、たくましく育って回帰したサケたちです。

8月7日から始まった定置網漁は、11月いっぱいまで行われる予定。今年は、史上3番目の来遊が期待されているだけに登別漁港の表情も、いつになく明るいです。

10.1

第三回市議会定例会

災害報告・補正予算などを審議

昭和六十二年第三回定例市議会は、九月十八日から二十五日まで、会期八日間で開催されました。

案件は、八月二十六日の大雨災害報告などの報告四件、昭和六十一年度各会計決算認定、一般会計及び公共下水道事業特別会計補正予算、教育委員の任命など議案十六件と請願一件。以下、今議会で審議された主な内容についてお知らせします。

▼行政報告・災害状況の報告について

8・26の大雨は、降り始めからの総雨量二百九十三ミリメートル。一時間当り最多雨量は、カルルスで四十四ミリメートルを記録しました。

市は、二十六日午前七時、災害対策本部を設置し、翌日午前六時四分洪水警報解除まで延べ五百八十六人の職員を

動員し、災害の対応にあたりました。

被害状況は、床上浸水四世帯、床下浸水八十八世帯。

市内の数か所で小規模なガケ崩れ、道路の冠水が見られましたが大事には至りませんでした。

被害金額は、農業災害三カ所、土木災害二十カ所、文教災害二ヶ所合わせて総額六億

二千九百八十八万円となりました。

また、台風十二号による災害は、強風による家屋の一部破損六世帯、被害総額一千四百二十二万円となりました。

なお、今回の議会では、大雨災害関連経費として、一般会計補正予算(第二号)補正額六千四百九十八万円の専決処分報告がなされました。

▼あらたに生じた土地の確認とそれに伴う町の区域の変更

登別漁港内の公有水面埋立工事の竣工が認可されたため総埋立面積一万三千三百三十四平方メートルの土地が「あらたに生じた土地」として確認され、併せて同面積を登別港町二丁目編入する議決がなされました。

▼一般会計補正予算(第三号)の主な内容

昭和六十一年度一般会計補正予算は、一億三千八百三十三万四千円を追加するもので、歳入歳出予算を総額は、それぞれ百三十三億四千五百八十一万四千円となりました。

補正予算の主なものは、次のとおりです。

◎道々洞爺湖登別線道路改良受託事業・五千七百四十五万六千円……登別東町沙見坂登別神社付近から高速道トンネルまで延長三百二十メートルの用地買収と移転補償を行う

▼各会計決算認定について
昭和六十一年度の一般会計及び各特別会計の決算について、それぞれ監査委員の意見を付し提出されました。

審議は、今回設置された決算審査特別委員会による閉会中の継続審議となりました。

▼教育委員会委員の任命について
教育委員会委員中山隆二郎さんが九月三十日をもって任期満了となりましたが、再度、教育委員として任命されました。

▼その他の案件
◎登別土地開発公社に関する昭和六十二年事業年度事業計画・予算補正及び資金計画補正について◎株式会社登別振興公社の第十二期決算並びに

◎登別市手数料徴収条例の一部改正について◎市道路線の認定について……登別六十一号線外八路線◎市道路線の変更について。

◎登別温泉地域総合整備事業費・二千百万円……本事業は観光地にふさわしい街づくりを目指し豊かな自然と歴史を生かし「学習と健康」のためのゾーン整備を行うものです。

当初予算二千万円と今回の補正を併せて四千万円の事業費となります。今回の補正分では「ナナカマドの広場」(五千平方メートル)「舟見山遊歩道延長」(千メートル)事業に取り組みます。

◎昭和六十一年度国庫道負担補助金精算金返還金・四、七

新たな町づくりへスタート

―総合計画審議会発足―

本市の新たな街づくりの根幹となる登別市新総合計画「基本構想・基本計画」を審議する「登別市総合計画審議会」が発足しました。

この審議会は、市内の経済、労働、青年、婦人、福祉など各分野の代表五十人で組織され、市長の諮問に応じ基本構想・基本計画について意見を述べられる機関です。

九月四日、第一回目の審議会では各委員への委嘱状交付の後、役員選出が行われ、会長に上田邦男商工会議所会頭、副会長には南太郎観光協会会長、大岩昌夫登別医師協議会会長が選出されました。また、専門部会として「生活環境」、「福祉文教」、「経済」の三部会が設置され、それぞれ役員を選出が行われました。

▼二十一世紀に向けて
今回諮問された基本構想と

基本計画案は、庁内の策定委員会でもとめられたもので、昭和六十三年度から七十年までのむこう八十年間にわたる街づくりの骨格が盛り込まれています。

二十一世紀にむかって、激動する地域構造や経済環境を見据えながら、確かな足どりで街づくりを進めるため、今回策定される構想・計画は、今までにない重要な使命をもちていると言えます。

▼十一月答申予定
九月十一日、第一回に引き続き開かれた審議会で、市側の計画案説明が行われた後、総括的な質疑が行われました。審議会は今後、各部会の細部協議を経て、十一月上旬答申案を作成する運びとなります。



8月26日の大雨で被害をうけた登別温泉中学校



登別市総合計画審議会

自主防災組織の結成を!

＝災害時の安全は、地域
みんなの連けいで＝



4月30日に行われた自主防災組織の設立総会

地震・強風・集中豪雨など災害は、思いもかけない時に私たちを襲います。

私たち一人ひとりが、普段から、災害に対する心がまえを持っていくつもりでも、いざ災害が起こると、なかなか適確な状況判断や情報収集ができません。

そんなとき、隣近所や地域の人達と連絡を取り合い、正確な情報にもとづいて、助け合いながら災害に対応できたら、こんな心強いことはありません。

また、身の回りに迫っている危険を速やかに関係機関に通報し、未然に危険を回避できればどれほど安心なことでしょう。

「地域自主防災組織」は、そういった地域の皆さんが、自ら協力し合い自主的に災害時にそなえようとする組織です。

安全で・災害時に強い町づくりのために

市では、従来より「自主防災組織」の設立を呼びかけてきました。

市と地域の人たちが一体となって災害の対応にあたる。これが地域の防災の基本です。

市や関係機関の流す情報が、よりきめ細かく伝達され、地域の人たちに正確に受けとめられることにより、正しい状況判断や危険に対する回避行動が生まれます。

自主防災組織の任務のうち最も重要なものは、情報の伝達・連絡体制の確立と言えるでしょう。

そして、この連絡網の確立した防災組織と市が、密接な連けいを持って災害に対処することになり、より安全で、災害時に強い町づくりが可能となります。

登別地区自主防災組織のとりくみ

昭和五十八年の大雨災害で大きな打撃を受けた登別地区。その時の教訓を生かし、登別地区の七つの町内会で構成する登別連合町内会（会長・石川政春さん）が中心となって今年四月、市内で初めて、自主防災組織が結成されたことは、すでに広報のほりべつ等でご承知のことと思います。

この登別地区自主防災組織が、今回の8・31台風十二号災害に際し、組織結成後、初めての災害対応を行いました。その取組みの模様などをご紹介します。

今年の台風十二号は、かつての「洞爺丸台風」と性質・状況等が酷似していたことから、市では、強風と大浪に警戒し、十六時三十分災害対策本部を設置。市内パトロール等を行いました。二十時、台風の接近が予想されたことから災害対策本部は、自主防災組織の総括責任者である石川会長に対し、「台風十二号の接近により危険が予想される」旨付近住民に周知されるよう要請。石川会長は直ちに各防災班長に周知方を伝達しました。伝達を受けた班長は、あらかじめ確立されている連絡網により順次各家庭に注意を呼びかけました。

又、地区内の電機店の協力により、拡声機塔車による地区内巡回広報を実施。きめ細かな情報伝達活動を展開しました。

今回の取り組みについて石川会長は「色々と反省点もありますが、情報の伝達がうまくいったことで、地域の皆さんから喜ばれました。これからも訓練などを実施して、より組織を整備していきたいですね。」と話していました。

あなたも地区にも自主防災組織を

市内各地区の皆さんも「自らの生命と財産は、自らで守る」という観点から、自主防災組織の設立に取り組んでいただくようお願いいたします。

市でも登別地区をモデルケースとして、皆さまのご相談に応じます。連絡は企画防災課（内線二四一）まで

秋の行政相談週間十月十一日～十七日
行政相談委員は、皆さんの身近な相談役です。



行政相談委員
長内 弘氏（おさないひろむ）中央町4丁目1番地8（電話5-2572）
〈相談は無料です〉
口頭・電話・手紙で行政相談委員にお申し出ください。

国の仕事によって不利益を被った、役所の事務処理が間違っていると思うが……。このような行政に対する苦情や疑問が生じたとき、たいへん心強い味方となってくれるのが「行政相談委員」です。

行政相談委員は、「行政相談委員法」という法律に基づいて、総務庁長官から委嘱されている民間の有識者です。ボランティアとして無報酬で活動しており、皆さんの身近な相談役となるよう務めています。行政相談を申し出る場合は、直接委員の所に出向かれても、手紙や電話で問い合わせても結構です。行政相談委員は、公平性や中立性を確保するために、法律によって、①守秘義務、②政治的中立、③業務の公平な遂行が義務づけられていますので、安心してご相談ください。なお、相談は無料です。

共同募金運動10月1日～12月31日
わかちあう幸せ

赤い羽根共同募金

共同募金は、民間によって運営される社会福祉事業に必要な資金を集める募金です。昭和二十二年に発足した共同募金運動も、今年で四十一回目を迎えました。

私たちのまわりには、寝たきりやひとり暮らしのお年寄り、体の不自由な人など、恵まれない方がたくさんいらっしゃいます。みんなそろって幸せにと、あたたかな心を持ちよる助けあいの姿―それが共同募金運動です。今年も赤い羽根共同募金運動が十月一日から始まります。赤い羽根は、あなたの善意のシンボルです。一人ひとりの善意が集まって大きな輪になるよう、あなたのあたたかい思いやりをお寄せください。

盛り上がる市内の サークル活動

安らぎと潤いのあるマ
チを目指す登別。今、市
民会館など文化施設の充
実と合わせて、市内では様
々な文化活動がみられます。
また、市としても六十年代か
ら市民の文化振興の一助となる
よう年間一千万円の予算を組み、
「スイスケルンザ少年少女合唱団」「し
ばたはつみコンサート」など、中央の優れた
芸術文化に接する機会を提供しています。
今号では、市内に約七十あるといわれるサ
ークルの中から、ユニークなサークルを紹介
し、あわせて皆さんの積極的な参加で、文化
の秋を盛りあげていきたいものです。

おふくろの味を...

おふくろの味を...



夢のあるおはなしを

図書館にかよっていたお母さんたちを中心に発足したこの会：月一回、手あそび、紙しばいを交え、絵本や自分たちでつくったおはなしを子どもたちに読み聞かせています。夏休み、冬休みの人形劇は大好評で、年々その数は増え今年は二百名近くの子どもたちが集まりました。子どもたちに夢のあるおはなしを一つでも多く聞かせたいとはりきっています。

登別コンサート協会

生演奏の魅力

クラシックファンを中心とした登別初の音楽鑑賞団体です。中央で活躍している演奏者を招き、年四回のコンサートを企画しています。六十一年度は山下洋輔を招きジャズコンサートも行ないました。今年十二月には、高橋竹与の津軽三味線の公演も予定しています。「クラシックというジャンルにとらわれないで、聞きに来た人に心の安らぎ、感動を与えることができれば」とは同協会福田さんの弁。





公民館講座から誕生したこのサークル。今では驚別、登別、幌別地区を合せ、会員がなんと七百名を超えるジャンボサークルとなりました。レクダンスは「一人でも手軽に踊れる」を合言葉にマンボ、ワルツからデイスゴまでとレパートリーは幅広く、会員の年代も二十代から七十代まで様々です。みんな一つの輪になって楽しんでいきます。

軽快なリズムに乗って



目指す食文化サークル「かまど」では、市内の畑を借り、おふくろの味の素材となるジャガイモ、ダイコンなどを自らの手でつくっています。今収穫の秋となり、これらの収穫物を材料に「インスタントでないおふくろの味の料理法を伝えたい」と会員みんな大はりきりです。



おはれ

芝オケサークル

慰問で大好評
着流し姿、花嫁姿の衣装でカラオケに合せて踊る芝オケ。同会の衣装はすべて自前。市内の老人ホームを中心に慰問を続け、今年で四年目を迎えます。ひょうきんな踊りが大受けで最近では老人クラブの集まりに引つ張りダコ。常に演歌の新曲に挑戦し、みんなに楽しんでもらおうと研究、練習に余念がありません。

竹とんぼなどをつくり、小学校や幼稚園の子どもたちにプレゼントすることにより、古くからの文化を伝承していきます。また、ねたきりのお年寄りのためにおむつ作りを始めて六年になります。まごころのこ関係者は、まごころのこもったこのボランティア活動に心から感謝しています。

まごころ活動で





故 浅沼春次郎さん

勲五等瑞宝章を受章

昭和26年3月から52年3月までの26年間、保護司として地域社会の犯罪予防、保護観察対象者の自立更正などに大きく貢献されました。今回の表彰は、この永年の功績をたたえ贈られたものです。

また、同氏は梶原町議、登別市社会福祉協議会会長なども務められ、市からは市功労者表彰が贈られました。



武田新作さん

自治大臣表彰を受彰

昭和50年5月に当市の監査委員になられて以来、60年6月までの10年間、公正な行財政運営の確立に尽力されました。

今回の表彰は、この永年の功績をたたえ、地方自治法施行40周年の記念表彰として贈られたものです。



谷藤朝弘さん

運輸大臣表彰を受彰

昭和22年から今日までの40年間、登別温泉・第1滝本館の調理師として、宿泊客へのサービスに努められました。

今回の表彰は、観光週間にちなんで贈られたもので、全国の観光関係従事者20人に授与。道内からは谷藤さん1人が表彰されました。



必ず納めましょう

国民健康保険税

国民健康保険は、助け合いの制度です。ふだんから保険税を納めておいて、万一、病気になるたときは、負担を少なくし誰もが必要な治療を受けられるようにすることが目的です。

医療費は、保険税、国の補助金、他の保険からの拠出金と患者の一部負担金などでまかなわれています。

登別市の国保会計
赤字は、約一億六千万円

六十一年度決算で、国保の赤字は約一億六千万円となっています。赤字の最大の原因は、医療費の大幅な増加にあります。保険税の滞納の増加も赤字原因のひとつです。

保険税を公平に

登別市では、保険税をできるだけ引き上げない方針ですが、このまま赤字がふえ続けると、国民健康保険制度そのものが成り立たないこととなります。

国保は助け合いの制度ですから、もし、保険税を納めない人がいると、その人の分まで他の人が負担する結果になり、大変に不公平なことになります。

ご利用ください
保険税の納付相談

保険税は、現在、六回に分けて納めていただくようになっています。しかし何か事情があって、それが困難なときは、さらに分割して納めることができます。詳しくは、市役所健康保険係、または各支所の窓口でご相談ください。

国民健康保険に関するお問い合わせは、市役所課税課健康保険係へ。(TEL)2111内線244

ぜひ、ご参加ください

胆振地域道民会議

胆振支庁から

地域道民会議は、道政に道民の意向を反映させるために開催するものです。

今年度も次のとおり行いますので、お気軽にご参加ください。

▽内容 「北国にふさわしいまちづくり」をテーマに、講演、皆さんとの討議を行います。なお、討議は次の3つの分科会に分れて行われます。

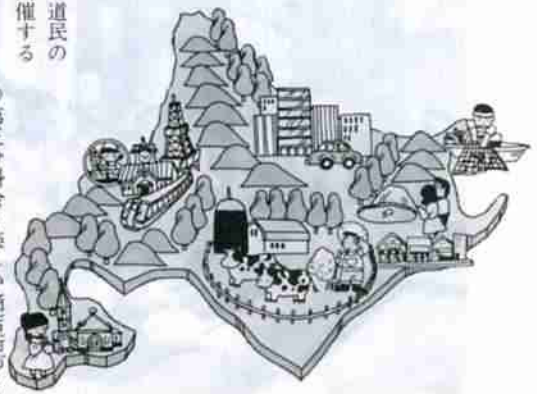
- 第一分科会：冬を楽しみ、冬に親しむ
- 第二分科会：美しく個性的な景観づくり
- 第三分科会：楽しい商店街づくり

▽日時 10月8日(木)午前10時～午後3時

▽場所 ホテルセビアス室蘭(室蘭市入江町1番12号)

▽参加申込み方法 10月7日まで胆振支庁広報渉外係にご連絡ください。(TEL)0143-22-9131

なお、当日は会場でも参加の受付を行っています。
▽問合せ先 胆振支庁広報渉外係



市営住宅千歳団地 入居者を 募集します

市では、本年度千歳町1丁目に市営住宅を建設しておりますが、10月に2号棟の入居募集を行います。入居を希望される方は、次のとおり申し込みください。

▷募集予定戸数 第2種耐火構造・7戸

▷家賃 27,700円

▷募集期間 10月5日～10月13日

▷入居資格・申込方法 市営住宅に入居しようとするためには、収入などの制限がありますので、入居資格・申込方法を詳しく記入した「市営住宅入居募集案内書」をごらんください。案内書は、市役所建築課または各支所にあります。

▷申込み・問合せ先 建築課 (TEL 2111内線288)

公民館講座 和裁教室

市教育委員会では、初心者を対象に、次のとおり和裁教室を開催します。

▽日時 10月14日、19日、21日、26日、28日：午前10時～正午

▽場所 警察公民館

▽対象・定員 一般市民、20名

▽講師 工藤恵子さん

▽内容 基本的なゆかたの作成から和服の仕上げまで

▽受講料 無料

▽申込み受付開始 10月5日から
▽申込み・問合せ先 警察公民館 (TEL 8823)

※用意するもの：敷物、物差し、ハサミ、和裁道具一式

ご参加ください

健康スポーツ教室

市教育委員会では、次のとおり健康スポーツ教室を開催します。多数ご参加ください。

▽日時 10月13日～11月13日まで



ゴミは分別して きめられた収集日に出しましょう

最近、収集日以外にゴミを出す方が見受けられますが、きれいな町並の美観を損じます。

ゴミは、決められた曜日の午前9時までに、ゴミステーションへ出すようにしてください。

▷ゴミ収集の日程

◎もやせるゴミ…毎週2回

◎もやせないゴミ…毎週1回

◎大型ゴミ…毎月1回

※大型ゴミは毎月1回で、第2週目(2列目)のもやせないゴミの収集日(水曜日)の場合、下のカレンダーに示す日となります。

日	月	火	水	木	金	土
例1	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
例2	6	7	8	9	10	11

21世紀に向けて 女性フォーラムを開催

登別市婦人短期大学では、次のとおり女性フォーラム(討論集会)を開催します。

▽対象 市内に居住または通勤する一般男女

▽費用 600円(スポーツ傷害保険料)

▽申込み方法 10月9日(金)までに電話で申し込みください。

▽申込み・問合せ先 総合体育館 (TEL 5552)

※受講者は、運動に適した服装を用意してください。

納め忘れは ありませんか 国民年金の保険料

国民年金の保険料は、もう納められましたでしょうか。保険料を納め忘れず、不測の事故にあつたときの障害年金、遺族年金などを受けられるためには、将来老令年金さえ受けられないおそれもありますので、お確かめください。もし、納め忘れの保険料がありましたら、早めに納めましょう。

▽問合せ先 国民年金係 (TEL 2111内線245)

教師を募集します

日本工学院北海道専門学校

▽学科及び募集人員 電子工学科 1名

▽資格 大学院修士修了以上、30歳まで

▽応募方法 履歴書を10月20日まで郵送してください

▽問合せ先 日本工学院・丸岡さん (TEL 0888)

道路標識週間 10月5日から11日

あなたの回りにある国道の標識(案内標識)の設置状況及び表示内容等について、お気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。

▽問合せ先 室蘭開発建設部 (TEL 0143) 22-91171・内線383)



新着図書案内

市立図書館TEL 54324



はんなりほっこり(寿岳草子) 風の祖国に向かえ(遠藤誉) 夢の国日誌(小山政弘) 生きていく(二、一、六(池田俊彦) コンピュータ新人類の研究(野田正彰) ドラマ作家物語(深田祐介) 前に立つ空(光岡明) ひどり旅一人芝居(渡辺美佐子) カスビ海の空はむらさき色(ハギイギ志雅子) 四季・波留子(五木寛之) 花衣ぬぐやまつわる(田辺聖子) ナグネの海峡(森詠) 雪古丸谷(高田宏) 人間関係(山田智彦) わが恋う人は(遠藤周作) 恐慌が迫る(大森実) 破断層(広河隆一) ホームレスの殺人方程式(小峰元) 恋を教えて佐藤正午) 雪舞い(芝木好子) わたしの臨死人生(沢村貞子) 王様と私(開高健) 花落ちていまだ掃かず(藤堂里子) よく死ぬことは、よく生きることだ(千葉敦子) 事実の素顔(柳田邦男) 眠れる霧に(黒井千次) 銀座春灯(山口洋子) ひどい幽けき(山本道子) 成吉思汗の鐘(中津文彦) 希望をありがとう(鹿島和夫) モダンガールの恋(堀内文子)

※予約は電話でも受け付けます

ふれあいを求めて

脳卒中後遺症患者の会

脳卒中は、後遺症を残すことが多い疾病であり、その障害は心身機能の低下を招くなど次第に寝たきりの生活へと移行するケースが多く見られます。このような後遺症の残っている方々を対象に、小集団活動を通して寝たきりになることを予防し、生活意欲の向上、行動範囲の拡大などを目的とした

- 定期的に通所できる方
- 主治医の許可のある方
- ▽予定人員 10名
- ▽参加費 無料
- ▽内容 言語訓練、レクリエーション、家族指導、体操など
- ▽申込み・問合せ先 保健衛生課 (TEL 2111 内線 250)

献血にご協力を

次の日程で街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- ▽日時・場所 10月2日(金)

3才児健康診査

医師、歯科医師、保健婦、栄養士による3歳児健康診査を実施します。

▽内容 心身の発育状況、歯科検診、尿検査、栄養指導、生活指導

▽実施月日・会場 10月28日/鉄南ふれあいセンター

▽受付時間・対象地区
 ●午前10時～11時：札内、新栄、幸、千歳、米馬、幌別、常盤、中央、若山1・2丁目
 ●午後1時～2時：柏木、富士、片倉、新川、鉾山、桜木、川上、青葉、緑

▽対象児 59年6月1日から同年9月30日までの出生児と前回受診もれの幼児(ただし、59年2月1日から同年5月31日までの出生児)

3ヶ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導

▽日程・会場・対象地区

10月29日：警察公民館(警察地区)
 10月30日：鉄南ふれあいセンター(幌別地区)
 11月18日：婦人センター(登別・登別温泉地区)

▽受付時間 正午～12時15分(ただし、婦人センターは12時30分～12時45分まで)

▽対象児 62年7月出生児(婦人センターは、62年7月、8月出生児)

▽用意するもの 母子健康手帳、

バスオトル
 ※神経芽細胞腫(小児がんの一種)の検査セットを同時に配付します。



自動車税の納税はお済みですか

道では、10月を「自動車税納税推進強調月間」と定め、同期間中にまだ納税されていない方を対象に、夜間の電話催告、給料や電話加入権等の差押えなど、厳しい一斉処分を予定しています。まだ納税のお済みでない方は、最寄りの銀行等で早めに納めてください。

▽問合せ先 胆振支庁税務部徴収課 (TEL 0143-221913)

郵便番号が 変わります 10月5日から

10月5日から、登別郵便局の受持ち区域が拡大され、郵便番号が変更になります。拡大される地域は、警察・上警察・若草・美園の4町で、現在、市内で使われている郵便番号050と0591003が059の3ケタに変わります。

●事務用封筒の印刷等に注意してください。

※詳しくは、登別郵便局にお問い合わせください。(TEL 2200)



サケの 河川そ上に ご協力ください

今年も、さけが河川にそ上する季節となりましたが、登別川の河口付近での採捕(釣りも含む)が昨年と同様、制限されておりましてご注意ください。

- ▽禁止区域 左岸100m、右岸200mまで、沖合は左右方位とも200mまで
- ▽禁止期限 12月20日まで
- ▽問合せ先 農林水産課 (TEL 2111 内線 261)

移動年金相談所を 開設します

室蘭社会保険事務所、室蘭市、登別市合同で移動年金相談所を開設します。新国民年金制度に疑問などをお持ちの方は、お気軽にご利用ください。

▽日時 10月21日、22日/午前10時～午後4時

▽場所 ファミリーデパート桐屋

交通安全は家庭から

秋の行楽シーズンを迎えて解放感からスピードの出すぎなどによる重大事故の発生が予想されます。事故を起こさないよう次のことにご注意ください。

- ▽思いやりの心で状況に応じた気くばりの運転に努めましょう。
- ▽夕暮れどきに衝突などの事故が多発します。早めにライトをつけて事故をなくしましょう。
- ▽歩行者の交通ルール無視による事故が多発しています。車の直前直後の横断は危険です。横断歩道を渡りましょう。
- ▽車に乗ったら運転者も同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。



臨時税務相談所を 開設します

札幌国税局の苫小牧税務相談室では、臨時税務相談所を開設します。土地や建物を売ったときの税金や贈与、相続にかかる税金のことなど、国税に関することなら何でもお気軽にご相談ください。

▽日時 10月16日(金) 午前10時～午後4時

▽場所 市役所第2庁舎 ※申し込みの必要はありません。当日会場におこしください。

市民啓蒙

ふれあう心の合言葉

一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。

不用品ダイヤル市

52111 内線257

おわけします(売り)

業務用テーブル(4人用、2人用) 業務用椅子(2人用)、子供用二段ベッド、室内ブランコ、ベビーーカー(2人用)、家庭用電気治療器、ふとん乾燥機、自転車(婦人用20インチ、24インチ)、反射式石油ストーブ、ホームタンク(90ℓ)、ガス湯わかし器、ミシン(ポータブル)、編機、あんま器、健康機械(サーフィンボード)

ゆずってください(買い)

食卓テーブル子供椅子、冷蔵庫、カラーテレビ、もちつき器、自転車(16(子供用)・20、22、24(婦人用)インチ)、スケート、バイク、ホームタンク(400ℓ)、バイク(50cc)、リヤカー、温水シャワー、和文タイプ